

高橋 大樹

「地上の星」さがし

「人」に着目した職場

地域活性化を図るためには、補助金や交付金などの財政面での支援も重要ですが、地域の人々が元気に、活き活きと活動できる状態を作り出すことも考える必要があります。活発な地域活動も活性化策を推進するのも、結局はそこに住む様々な人材が力を発揮してこそなされるものです。このような観点から、私が所属する人材力活性化・連携交流室では、22年度に自治体や地域活性化に関わる団体等が、地域の人材を育成・強化する場合の参考として用いることや、各種取組の「気づき」となることを期待して、地域で求められる人材像や、人材力活性化の取組における具体的な事例を数多く盛り込んだ「人材力活性化プログラム」を作成し、23年度にはこのプログラムを実際に活用した研修の企画運営に取り組んでいます。その他、都市住民を地方へ誘致し、その定住・定着を図ることで地域力の維持・強化を図ることを目的とした「地域おこし協力隊」や東日本大震災の復興をサポートするための「復興支援員」など、「人」に着目した施策を展開しています。

「地上の星」は存在する

「人」に着目した施策を展開しているため、実際に活動の現場に赴き、ヒアリングや実態調査を行うことも多く、様々な人が各地で自分達の地域を盛り上げようと知恵を出し合い、壁にぶつかっても乗り越えようと精一杯活動している状況を目の当たりにしてきました。以上の経験から、地方や地域を考える際には、行政区画などのエリアで捉えるだけでなく、地域住民という言葉が最小単位に思いを馳せ、施策等を企画する必要性・重要性を意識するようにしています。様々な形で地域活性化に取り組んでいる人々はまさに「地上の星」であり、そんな方々に勇気づけられると同時に当室を通して少しでも活動の後押しができないか、スポットライトを当てられないかを日々思案しています。

熱い思いに触れてほしい

先日、当室で企画した地域の人づくりに関する研修の最後に、受講生から握手を求められ、こう話されました。「研修で目頭が熱くなった経験は初めてだ。ありがとう」と。ビジネスライクという言葉では片付けられない、地域おこしへの熱い思いに触れ、共有できる職場が総務省にはあることを、皆さんに是非知ってほしいです。

PROFILE

平成16年4月 総務省採用
自治大学校庶務課
平成17年4月 自治税務局
固定資産税課
資産評価室
平成17年10月 埼玉県総合政策部
市町村課
平成19年10月 公営企業金融庫
経理部資金課
平成20年10月 地方公営企業等
金融機構資金部資金課
平成22年4月 現職

とある一週間

- 月曜日** 登庁後、手帳で一週間の予定を確認し、何から手を付けるべきか頭の整理。
- 火曜日** 地域おこし協力隊について議員レクの依頼。必要な資料を揃え、議員に制度の説明を実施。
- 水曜日** ギャップイヤーの報道を受け、当室として何か施策を打てないか、上司と協議。社会の動きを敏感に察知し、行動する開発力が求められる。
- 木曜日** 大学と地域の連携に関する取組を調査するため、熊本県出張。調査後、明日のイベントのため佐賀県に直行。
- 金曜日** 佐賀県で「一日人材力活性化研究会」を開催。大勢の自治体職員・NPO等職員に参加のもと、大盛況で幕を閉じる。
- 土・日曜日** 妻と行きつけのビストロで気分転換。



出張先の長野県飯田市にて